

鹿児島県本土におけるヒメトケンランの確認報告

立久井昭雄

〒 890-0036 鹿児島県鹿児島市田上台

はじめに

2025 年 5 月 13 日、鹿児島県錦江町の山中にて、ヒメトケンラン (*Tainia laxiflora* Makino) を確認したので報告する。

本種はラン科 (Orchidaceae) の地上性の多年草である。日本での分布は伊豆七島、四国南部、九州 (平戸島、福江島、甕島)、屋久島、種子島、琉球 (佐竹ほか, 1982) である。鹿児島県の分布は田代 (花瀬)、甕島、屋久島、種子島、中之島、奄美大島、徳之島 (初島, 1986) である。鹿児島県本土田代 (花瀬) の記録があるが、鹿児島県立博物館収蔵資料データベース、鹿児島大学博物館維管束植物 DB には鹿児島県本土の標本は収蔵されていない。鹿児島県レッドデータブック (鹿児島県, 2016) 及び環境省レッドリスト (環境省, 2025) で絶滅危惧 II 類となっている。

確認地はスダジイ林下谷部の川治いの斜面下部である。50 cm 四方の中に 11 株を確認し、8 本の花茎が出ていた (Fig. 1)。

生育地での特徴

確認した特徴は次のとおりである。葉は地面に接して広がり、落葉に隠れているものもあるので気づきにくい。花が咲いていなければ見過ごしていたと思われる。葉は深緑色で、大きさは長さ 6.5 cm, 幅 1.8 cm 程で、偽球茎から 1 枚出て、長さ 1-3 cm の葉柄がある。日本の野生植物 草本 I 単子葉類 (佐竹ほか, 1982) に、トケンランの葉の特徴として、「表面に白色の斑紋がある」とあるが、確認したヒメトケンランは葉の斑紋は不鮮明である (Fig. 1C)。以前屋久島で見たもの

には顕著な斑紋が確認できる (Fig. 1D)。偽球茎は長さ 8 mm, 幅 7 mm 程の球形をしている。偽球茎の基部には、花後に出る新芽が見られた。花茎は偽球茎の基部から真っすぐに 1 本出て、高さ 23 cm 程である。花茎の基部と途中には鞘状葉がある。花茎の上部に径 1.7 cm 程の花を 4-6 輪着ける。花は萼片 3 枚と同形の側花弁 2 枚が黄褐色で、唇弁は鮮やかな黄色をしている。唇弁は浅く 3 裂し、側裂片は小さくて立ち上がる。中裂片は横長の楕円形状で、中央の先は少し凹み、中央に 3 本の隆起した線があり、真ん中の隆起線は短い。ずい柱には 2 個の赤い斑点がある。

シダ植物の調査中に偶然確認したが、周辺を調査すれば他にも見つかる可能性がある。確認地は川治いの斜面で、樹林の範囲が狭いので伐採等の可能性は少ないと思われる。

なお、作製した標本は鹿児島大学総合研究博物館 (KAG) に収めることとしている。

参考文献

- 初島住彦. 1986. 改定 鹿児島県植物目録. 鹿児島植物同好会, 鹿児島. 290 pp.
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・冨成忠夫 (編). 1982. 日本の野生植物 草本 I 単子葉類. 平凡社, 東京. 305 pp.
- 鹿児島県. 2016. 改定・鹿児島県の絶滅のおそれのある野生植物—鹿児島県レッドデータブック 2016—植物編. 鹿児島県環境技術協会, 鹿児島. 499 pp.
- 鹿児島大学博物館維管束植物 DB Rel. 2.20 <https://dbs.kaum.kagoshima-u.ac.jp/musedb/s_plant/s_plant.php> (accessed 9 8 September 2025)
- 鹿児島県立博物館収蔵資料データベース <https://jmaps.ne.jp/kagoshima_pref_museum/index.html> (accessed 9 8 September 2025)
- 環境省. 第 5 次レッドリスト (植物・菌類). https://www.env.go.jp/press/press_04578.html (accessed 9 September 2025)

Tachikui, A. 2025. A locality of *Tainia laxiflora* from the Kagoshima mainland. *Nature of Kagoshima* 52: 81-82.

☑ AT: Tagamidai, Kagoshima-shi, Kagoshima 890-0036, Japan (e-mail: akiotachikui@outlook.jp).

Received: 9 September 2025; published online: 12 September 2025; https://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_052/052-020.pdf

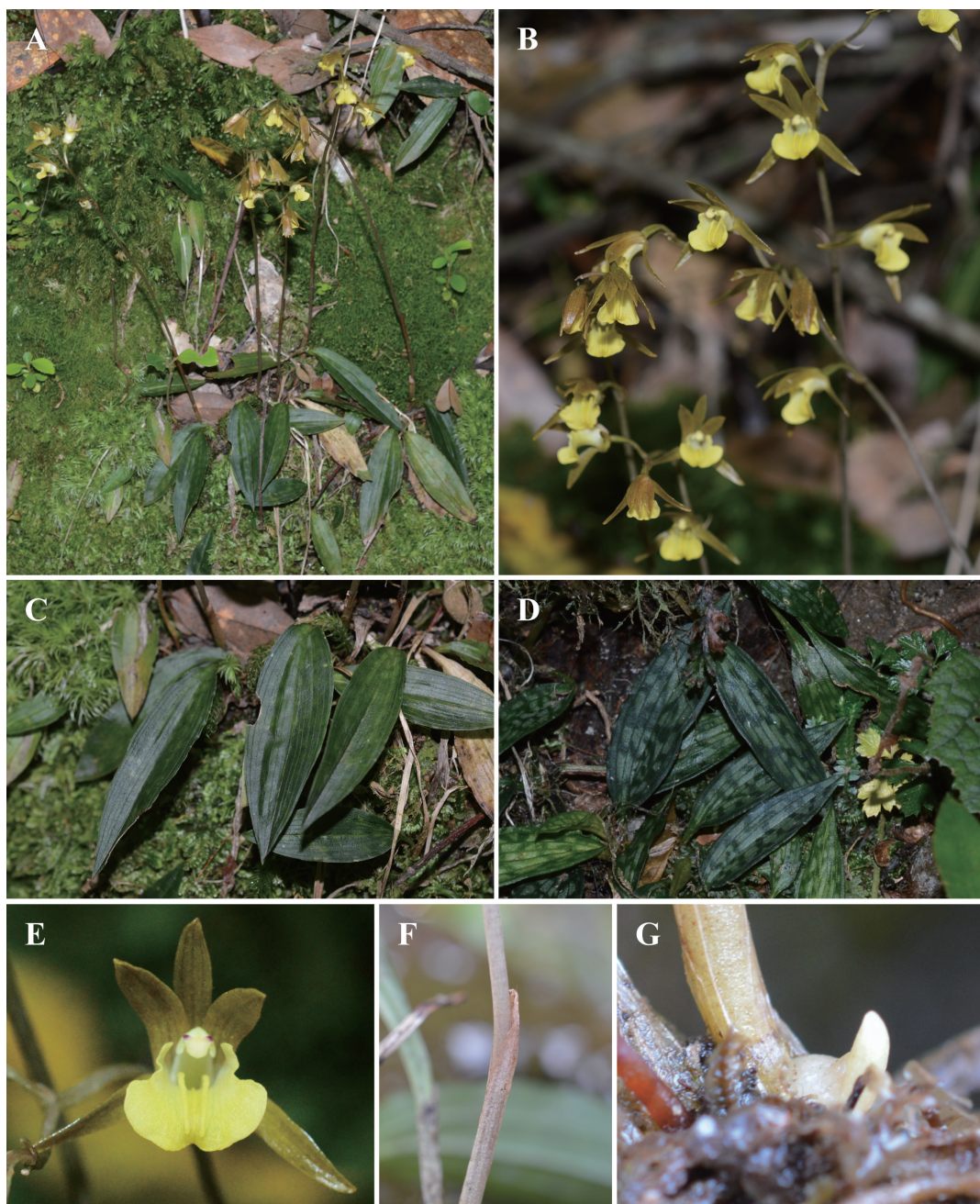


図1. ヒメトケンラン (*Tainia laxiflora* Makino). A, 開花株. B, E: 花. C, D: 葉 (Cは今回確認された鹿児島県本土のもの. Dは屋久島産のもの). F: 花茎の鞘状葉. G: 新芽.